

授業科目

医療管理論

| | | | | |
|---------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 瀧口 徹 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | 情報 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ○ | ◎ | ○ | | |

授業の概要

病院における医療管理について、特に感染管理、地域医療連携、疾病管理、EBM、クリニカルオーディット、高齢者医療などについて学ぶ。

授業の目的

我が国では医師法、保健看法等の身分法による業務独占、医療法による施設・設備および薬事法等による薬剤、医療機器の3分野について、いわゆる「ヒト」、「ハコ」、「モノ」の管理体制の維持・強化で医療の質を担保してきた。これに加えて1990年代からはクリニカル・ガバナンスによる医療統治の導入により医療の質の向上、患者満足度の向上および医療過誤の防止を図ってきた。こうした歴史的背景とその仕組みについて学ぶことを目的とする。

学習目標

医療事故と医療過誤のメカニズム、クリニカル・ガバナンスの構成要素であるEBM、クリニカル・オーディット、クリニカル・インディケータ、クリティカルパスを体系的に理解する。次に我が国の医療の質を規定している要素や医療法などの法律の果たしている役割を理解する。更に現行の保険医療制度の仕組みと実際を理解し、DPCシステム等の新たな保険診療体系の基本を理解する。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|---------------|---|------|
| 1 | 医療事故と医療過誤 1 | 医療事故のメカニズム、安全管理、事故のピラミッド、スイスチーズモデル | 瀧口 徹 |
| 2 | 医療事故と医療過誤 2 | 臨床疫学、院内感染防止、パンデミック感染症（HIDS,鳥インフルエンザ、SARAS等） | 瀧口 徹 |
| 3 | 医療の質と評価法 1 | 医療の質の3要素、医療法によるヒト、ハコ、モノの規制内容、薬事法による医薬品、医用器具規制内容 | 瀧口 徹 |
| 4 | 医療の質と評価法 2 | 医師-患者関係、インフォームドコンセント、患者満足度評価（QOLとADL） | 瀧口 徹 |
| 5 | 医療の質と評価法 3 | 組織論（ライン、スタッフ、ファンクション）、病院における危機管理、病院評価（機構） | 瀧口 徹 |
| 6 | 医療保険のしくみ 1 | 社会保障と医療保険制度体系、保険者、被保険者、支払基金、レセプト | 瀧口 徹 |
| 7 | 医療保険のしくみ 2 | 医療費の動向、医療費の3要素、医療制度改革、高齢者医療 | 瀧口 徹 |
| 8 | 保健・医療・福祉の連携 | 高齢者の保健・医療・福祉、健康増進法、健康日本2 1、老人保険、介護保険 | 瀧口 徹 |
| 9 | クリニカル・ガバナンス 1 | 臨床疫学、スクリーニング、EBM | 瀧口 徹 |
| 10 | クリニカル・ガバナンス 2 | クリニカル・インディケータ、クリニカル・オーディット | 瀧口 徹 |
| 11 | クリニカル・ガバナンス 3 | クリティカル・パス | 瀧口 徹 |
| 12 | DPCシステム 1 | 国際疾病分類（ICS10）とDPCシステム構築の経緯 | 瀧口 徹 |
| 13 | DPCシステム 2 | DPCシステムの特徴と医療保険 | 瀧口 徹 |
| 14 | DPCシステム 3 | DPCシステムと診療情報管理士等のIT担当者の機能と役割 | 瀧口 徹 |
| 15 | まとめ | 小テスト解説 | 瀧口 徹 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|------|-------------|--------------------|--------|-------|----------|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| | 医療・病院管理用語辞典 | 日本医療・病院管理学会学術情報委員会 | 市ヶ谷出版社 | 2015年 | 3,800円+税 | |

| | | | | | | |
|--------|--------------------------------|--------------------------|--------------------|-------|----------|---|
| 参考書 | 医療の質の定義と評価法 | Avedis Donabedian、東尚弘（訳） | 健康医療評価研究機構 (iHope) | 2007年 | 4,000円+税 | http://ihope.cart.fc2.com/ca2/1/ ISBN 978-4-903803-00-5 |
| | クリティカルパスの進め方 | 遠藤英俊、諏訪免典子 | ぱる出版 | 2007年 | 2,700円+税 | amazon |
| | 患者満足度 — コミュニケーションと受療行動のダイナミズム— | 前田 泉、徳田茂二 | 日本評論社 | 2005年 | 2,100円+税 | Amazon |
| その他の資料 | | | | | | |

評価方法

授業毎の小テスト(25%程度) および筆記試験 (75%程度) で評価する。

履修上の留意点

将来、病院IT管理者（診療情報管理士等）、医師事務補助者（ドクターズクラーク、医療秘書等）、診療報酬請求事務担当者（メディカルクラーク、診療報酬請求事務能力試験認定者等）、その他の医療関係業務に就く場合、いずれの職種の資格取得試験および実際の業務において本科目で習得する情報は必須です。しかし、大多数の学生にとって経験が無いが、患者としてしての経験しかない病院、診療所業務を体系的に理解することは大変です。王道はありませんが1回1回の授業をよく聞き理解するのが唯一の方法です。

オフィスアワー・連絡先

瀧口徹 takiguchi@nuhw.ac.jp IA513 平日9:30-17:00